

常陸大宮市 議会広報



第60号

令和元年10月25日
発行 常陸大宮市議会



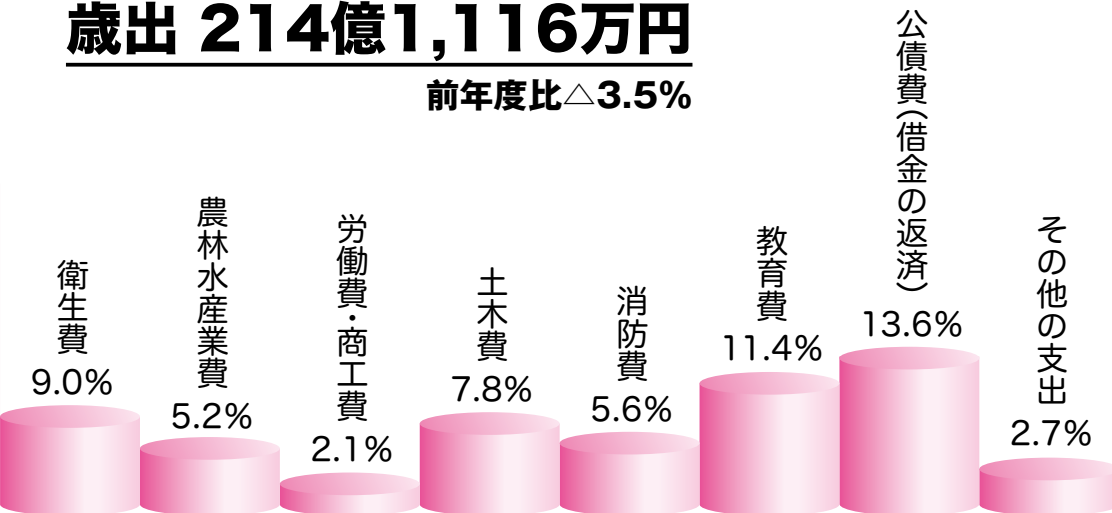
主な内容

- 第3回定例会 — P2～P3
- 予算決算常任委員会報告 — P4～P7
- 議員提出議案 — P10
- 議決一覧 — P11～P12
- 一般質問 — P13～P18
- 行政視察 — P19～P21
- まちかどから — P22

魅力あふれる 持続可能なまちづくりへ

歳出 **214億1,116万円**

前年度比△3.5%



防災行政無線デジタル化整備事業

アナログ防災行政無線整備の更新に伴い、デジタル防災行政無線システムの整備工事

2億5,989万円

学校給食センター施設整備事業

新学校給食センター建設にかかる経費

1億2,340万円



御前山ダム周辺整備事業

地域活性化や観光振興を図るため、御前山ダム周辺の整備等実施

2,603万円



小中学校空調設備整備事業

普通教室と特別支援教室に空調設備を整備

1億2,943万円



フューチャースクール推進事業(小中学校分)

タブレットパソコンの維持管理等実施

9,004万円



東京オリンピック・パラリンピック推進事業

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向け、各種PR活動や市民の国際交流を推進

2,030万円

平成30年度主な事業

**令和元年
第3回
定例会**

会期

**9月3日から
9月20日まで**

**H30年度決算
12件**

**条例制定
1件**

**条例改正
8件**

**R元年度補正予算
5件**

**規約変更
1件**

**市道路線廃止
1件**

**人事案件
1件**

**工事請負契約
3件**

**議員提出議案
3件**

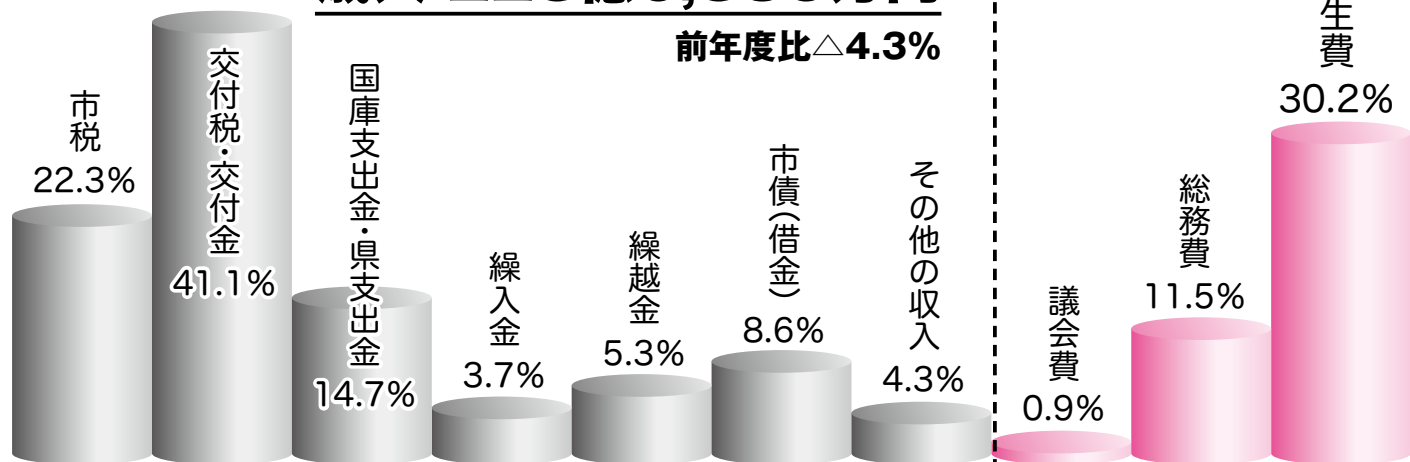
**すべて原案
どおり可決**

平成30年度 決算

一般会計

歳入 223億6,385万円

前年度比△4.3%



《監査委員の意見》～一部抜粋～

当年度における市の財政は、地方消費税交付金や財産収入が増加したものの、市税や地方交付税が減少し、公債費が増加するなど厳しい財政状況であったが、人件費や扶助費等の経常経費及び普通建設事業費の削減を図ることにより、所要の財源を確保し、健全性が維持できた。

しかしながら今後、歳入面では、固定資産評価替や生産年齢人口の減少などにより市税収入は厳しい状況が予想されるほか、合併算定替特例措置の縮減等による普通交付税の減少も見込まれ、歳出面では、扶助費などの社会保障関連経費の増加やインフラを含む公共施設の長寿命化対策に係る修繕費等の増加が見込まれる。

国内景気の見通しは、令和元年10月から導入される消費税率引き上げによる消費減退の懸念があり、今後の行財政運営に当たっては、第3次常陸大宮市行財政改革大綱の方針に沿って、合併特例期間の終了を見据え、収納率向上による自主財源の確保を図るとともに、事務事業の見直し等による経費節減や市債残高の縮減により、将来負担の軽減を図るなど、後年度の財政負担を考慮する取り組みを推進されたい。

特別会計・事業会計決算額

会 計 名		歳 入	歳 出
国民健康保険特別会計	事業勘定	49億2,669万円	48億3,203万円
	診療施設勘定	1億9,287万円	1億7,571万円
公共下水道事業特別会計		8億6,409万円	7億9,489万円
公営墓地特別会計		8,795万円	2,346万円
農業集落排水事業特別会計		5億3,762万円	5億 588万円
介護保険特別会計		50億5,792万円	49億 239万円
宅地造成事業特別会計		457万円	449万円
戸別浄化槽整備事業特別会計		5,244万円	5,062万円
温泉事業特別会計		8,068万円	7,396万円
後期高齢者医療特別会計		5億 53万円	5億 35万円
那珂地方公平委員会特別会計		86万円	9万円
上水道事業会計	収益の収入及び支出	13億7,874万円	12億4,670万円
	資本の収入及び支出※	3億8,385万円	8億2,438万円
合 計		140億6,881万円	139億3,495万円

※上水道事業会計の資本的収入及び支出の収入額が支出額に不足する額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額及び過年度分損益勘定留保資金で補填。

集中審議 Q&A pick up

(委員長：吉川美保 議員 副委員長：小森敬太郎 議員)

財政・まちづくり

A Q 普通交付税の減少状況について伺う

合併算定替えの特例措置の縮減は平成27年度10%、平成28年度30%、平成29年度50%、平成30年度70%の縮減です。そして令和元年度は90%、令和2年度は1本算定です。
縮減額は約8億2千万円となります。

A Q 平成30年度の市債管理基金の詳細について

約3億円の基金を活用しました。内訳は道の駅整備事業、第二中学校整備事業、明峰中学校大規模改修工事等への償還金が、2億5千万円ほどふえたので充当しました。今後は大宮駅周辺整備事業等といった大きな起債額の対象となる事業へ市債管理基金を活用します。

A Q 財政調整基金の残高は55億8767万8千円です。

A Q 原子力事故損害賠償金319万円余について
有害鳥獣被害防止対策助成金に対する賠償金で、イノシシ608頭の捕獲助成金の賠償金です。平成29年度は100%の補償でしたが、平成30年度は2分の1の補償となりました

A Q 予約制乗合タクシーの平成30年度の登録者状況は
総登録者数は3470人で、平成30年度は272人登録で内訳は、大宮地域146人、山方地域47人、美和地域28人、緒川地域31人、御前山地域20人です。



予約制乗合タクシー

A Q 監理費の中、地元業者への発注の割合は
建設工事131件中、地元業者122件で市外は9件です。コンサルタント業務66件中、市内52件 市外14件です。

A Q 機能別消防団員について

団員数42人です。7件の火災に延べ13名出動しました。報償費は1件あたり2600円です。



平成30年度 決算審査

予算決算常任委員会 9月11日～13日

教育・福祉

Q 当年度6月から開始した障害者基幹相談支援センターの利用状況は

A 相談総数379件（実人数155）の内、どのような支援を受けられるかの知りたいというのが22%でした。また、ひきこもり関係の相談が40件ありました。

Q 常陸大宮済生会病院医師確保等事業補助金の効果と修学資金貸与状況及び県派遣医師の状況は

A 救急医の確保につながるものとしてドクターカー試行経費なども対象として実施していますが、常勤医師の確保は厳しい状況です。

貸与者は合計7名で、貸与期間6年が4名、5年が2名、2年が1名です。その内貸与期間2年の1名が義務年限履行中です。

常陸大宮済生会病院は、県の医師派遣優先病院に指定され、令和元年10月から内科医1名、令和2年1月から救急科専攻医1名の派遣が決定しました。

Q 教育支援センターの相談内容等や不登校児童生徒の数とその状況は

A 教育支援センターの保護者からの相談は子育てに関するものがほとんどです。小学校延べ986件、中学校延べ1697件、卒業生からの相談が延べ96件でした。30日以上長期欠席児童生徒数は、小学校10名、中学校30名です。

指導室としては学校と情報を共有しながら、不登校児童生徒の解消に向けた支援に努めます。

Q タブレットパソコンを活用した授業は、全授業数の何割を占めるのか

A 小学校で12%、中学校で11%になっています。

なお、小中学校とも総合的な学習の時間での使用が多い状況です。



タブレットパソコンを活用した授業の様子

Q 小学校における外国語（英語）の授業時数は

A 2020年度からの新学習指導要領の改訂に伴い教科として外国語科が導入されますが、本市では平成30年度から先行実施しております。

1～2年生は、月に1～2時間です。
3～4年生の外国語活動が年間各35時間、5～6年生の外国語科が年間で各70時間です。

Q 有害鳥獣捕獲隊の地域別人数・箱わなの貸出状況は

A 大宮地域9名
山方地域10名
美和地域8名
緒川地域8名
御前山地域10名
の合計で45名です。

箱わな（64基）の貸出は、捕獲隊31基、一般12基、残り21基が予備となっています。



箱わな

Q 道路愛護作業報奨金と道路除草委託の内容は

A 報奨金は、各地域の各区に道路除草を1メートル40円で支給します。道路除草委託は、業者と委託契約して除草作業を行います。

Q 常陸大宮駅周辺整備事業の進捗状況は

A 平成30年度は、常陸大宮駅周辺整備計画策定並びに自由通路設置等基本調査を実施して自由通路設置等の検討をJR・コンサルタント・関係機関で協議を行っているところです。



常陸大宮駅周辺

Q 配水管更新事業について、全体で約700キロメートルあるが、どれくらい更新したのか

A 配水管の更新は、7903・8メートルです。

Q 有収率の目標は、80%であるが、減少している原因はなにか漏水等があり、更新しても追いついていない状況です。



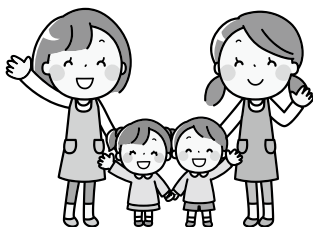
主 な 内 容

補正 予算

一般会計

●子育てのための施設等利用給付事業 272万円

預かり保育や認可外保育施設等を利用する子どもを持つ世帯を対象に、施設等の利用料を無償とするものです。



●有害鳥獣捕獲事業費 50万円

ドローンによる空撮等を活用したイノシシの生態調査を実施し、捕獲活動及び被害防止策の効率化を図ります。



●森林環境譲与税活用事業 320万円

森林経営管理制度による、森林所有者に対して、経営管理意向調査を実施するにあたり、意向調査準備として、森林状況調査委託をするものです。



令和元年度補正予算

会 計 名	補 正 額
一般会計（第3号）	5億5328万円
国民健康保険特別会計（第1号）事業勘定	179万円
介護保険特別会計（第2号）	1億6025万円
戸別浄化槽整備事業特別会計（第1号）	323万円
下水道事業会計（第1号）	資本的収入 1,120万円
	資本的支出 1,412万円

討 論

議案第68号 平成30年度常陸大宮市一般会計歳入歳出決算の認定について

✿ 討論とは…議題になっている案件の「賛成」「反対」について、理由を明確に述べながら賛否を議論すること。

反 対

高村 功 議員

子どもの医療費助成は高校3年生までですが、対象年齢を拡大し、所得制限を撤廃すべきです。

イノシシ被害は深刻です。市の施策は若干の進展がありましたがまだまだ不十分です。実際の被害実態を把握し、職員が現地に入り、地域ぐるみの被害防止対策を強く求めます。

当市の財政調整基金は1人当たり13万円で、県内上から4番目です。財調と減債基金の合計は上から3番目です。財調は普通会計の24%で、県内平均の2倍です。今の市民のために、これからも住み続けたい常陸大宮市にするために使うべきです。このような財政運営はやめるべきです。

賛 成

黒部 博英 議員

平成30年度一般会計の決算は、歳入では固定資産税が評価替えの影響などから減額となり、普通交付税も合併算定替特例措置の縮減等により減額となりましたが、市債等の活用により、所要の財源を確保されました。歳出では、市総合計画及び市創生総合戦略に基づく各種施策を推進し、それぞれに成果をおさめております。以上、議案第68号に対する賛成討論いたします。

採決の結果、賛成多数で認定されました。



議案第85号

常陸大宮市森林環境譲与税基金条例

森林環境税及び森林環境譲与税の創設を受けて、森林整備やその促進に関する施策に必要な財源を確保するための基金を設置

議案第80号

常陸大宮市税条例等の一部を改正する条例



- (1) 消費税率の引上げに伴う軽自動車税の環境性能割（従来の自動車取得税）の臨時的軽減

	軽減前の税率	軽減後の税率
平成30年度排出ガス基準50%以上低減達成車等かつ令和2年度燃費基準達成車	1.0%	非課税
上記以外	2.0%	1.0%

- (2) 軽自動車税の種別割に係るグリーン化特例の見直し等

取 得 期 間			令和元・2年度	令和3・4年度
軽 減 年 度			令和2・3年度	令和4・5年度
区 分	電気軽自動車 天然ガス軽自動車		75%軽減	75%軽減 (貨物用を除く。)
	ガソリン 軽自動車	乗用 令和2年度燃費基準+30%達成	50%軽減	
		貨物用 令和2年度燃費基準+35%達成		
		乗用 令和2年度燃費基準+10%達成	25%軽減	
		貨物用 令和2年度燃費基準+15%達成		

- (3) 子どもの貧困に対応するための個人住民税の非課税措置（児童扶養手当を受けている未婚の一人親で前年度合計所得額135万円以下）
(4) その他

議案第81号

常陸大宮市印鑑条例の一部を改正する条例

住民基本台帳に旧氏の登録がされることによる印鑑登録の取扱いの改正（印鑑登録証明書に旧氏の併記や旧氏で表した印鑑の登録可）

議案第82号

常陸大宮市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

家庭的保育（対象2才児迄）の卒園後の3歳児以上の受け皿として、保育所及び認定こども園等の連携施設の確保の緩和措置（本市においては家庭的保育2施設とも連携施設あり）

常任委員会審査 pick up

総務

◎小森敬太郎 ○黒部 博英 金子 卓
武石 寿長 大貫 道夫 小原 明彦
◎委員長 ○副委員長

議案第81号 常陸大宮市印鑑条例の一部を改正する条例

Q 条例改正の背景につて

A 女性活躍の推進の一環として、印鑑登録証明等に旧姓を併記することで、改姓等に伴う各種手続き等の負担軽減を図り、旧氏を通称として使用し続けられる環境を整えることにより、より一層女性の活躍を推進するものです。

議案第88号 常陸大宮市手数料徴収条例の一部を改正する条例

Q 対象施設の設置許可に係る審査手数料とは、どのような施設で、また設置されている場所は

A 施設とは貯蔵タンクの液面に浮き屋根式と浮き蓋付きが特徴としてあげられます。県内においては鹿嶋市などで設置されています。

文教福祉

◎大瀧愛一郎 ○三次 弘史 高村 和郎
吉川 美保 高村 功 坪 司一
◎委員長 ○副委員長

議案第82号 常陸大宮市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

Q この条例でいう連携施設とは

A 認可を受けている保育所、認定こども園、幼稚園です。

議案第83号 常陸大宮市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

Q 従来の大学と専門職大学の違いは

A 従来の大学は、学問的色彩の強い教育が行われるのに対し、専門職大学は、専門性が求められる職業を担うため実践的な教育が行われます。

経済建設

◎坂本 繁輝 ○富山 和男 秋山 信夫
掛札 行雄 淀川 茂樹 岡崎 欣也
◎委員長 ○副委員長

議案第85号 常陸大宮市森林環境譲与税基金条例

Q 今年度の譲与される額は

A 1,710万円の予定です。

議案第86号 常陸大宮市水道の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例

Q 布設工事監督者の資格要件のうち技術士とは

A 技術士は国家資格であり、水道事業においては、浄水場の新設など大きな工事の監督者になれます。

あなたが出された 請願・陳情は！

請願

番号	件名	提出者	紹介議員	付託委員会	結果
請願 第R1-1号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願	茨城県教職員組合 執行委員長 杉山 繁 ほか115名	黒部 博英	文教福祉	採択

議員提出議案

議提第2号

●常陸大宮市の出資法人への関わり方の基本的事項を定める条例

可決

(目的)

第1条 この条例は、市の多様な行政目的を達成する上で出資法人が重要な役割を果たしていることに鑑み、市の出資法人へ関わり方に関する基本的な事項を定めることにより、市が出資法人を通じて実現しようとする行政目的の効果的かつ効率的な達成を図り、もって地域の振興及び市民生活の向上に資することを目的とする。

(定義)

第2条 この条例において「出資法人」とは、市が資本金、基本金その他これらに準ずるもの（以下「資本金等」という。）を出資又は出えん（以下「出資等」という。）している法人であって、次の各号のいずれかに該当する法人をいう。

(1) 市の出資等の割合が2分の1以上のもの

(2) 市の出資等の割合が4分の1以上2分の1未満のもののうち、規則で定めるもの

2 この条例において「公的支援」とは、市が出資法人に対して行う支援のうち、次に掲げるものをいう。

(1) 資本金等を出資等すること。

(2) 資金を貸し付けること。

(3) 補助金（経営改善を目的とするものに限る。）を交付すること。

(4) 貸付金の返済を猶予し、返済計画を変更すること。

(5) 適正な対価なく財産を新たに貸し付け、又は譲渡すること。

(6) 損失補償契約その他これに準ずる契約を締結すること。

3 この条例において「経営評価」とは、出資法人の設立目的を踏まえ、事業が効果的かつ効率的に実施されているかどうかについて、当該出資法人自らが事業全体を分析し、総合的に評価を行うことをいう。

(自主的運営等への配慮)

第3条 市長は、この条例の適用に当たっては、出資法人の自主的かつ自律的な運営及び出資者（当該出資法人に資本金等を出資等しているもので、市以外のものをいう。）の利益を損なわないよう十分配慮するものとする。

(財政状況の公表)

第4条 出資法人は、毎事業年度、次に掲げる書類を作成し、市長に提出しなければならない。

(1) 年度別事業計画書

(2) 年度別決算報告書

(3) その他市長が必要と認める書類

2 市長は、前項の書類が提出されたときは、次の議会にこれを提出するとともに、公表しなければならない。

(経営評価の実施等)

第5条 市長は、出資法人に対し、毎事業年度終了後に当該年度の経営評価の報告を求めるものとする。

2 市長は、前項の報告について審査を行い、当該出資法人の経営状況、事業の実施内容その他必要な事項について評価するものとする。

3 市長は、前項の規定による評価を行うときは、学識経験を有する者等から意見を聴くことができる。

4 市長は、第2項の規定により評価した事項のうち、改善を要すると認めた事項について、当該出資法人に対して助言又は指導を行うとともに、必要な措置を講じるよう求めるものとする。

5 市長は、第2項の規定による評価の内容及び第4項の規定による助言又は指導及び措置の内容について、議会に報告するものとする。

(公的支援の協議)

第6条 市長は、出資法人から公的支援の要請を受けたときは、当該出資法人に対し資料等の提出を求め、公的支援の必要性及びその内容を協議するものとする。

2 市長は、前項の規定による協議を行ったときは、その内容を議会に報告するものとする。

(議会の措置等)

第7条 議会は、第4条第2項の規定により提出された書類の内容並びに第5条第5項及び前条第2項の規定により報告を受けた事項に関し必要があると認めたときは、市長に対し意見を述べることができる。

2 市長は、前項の意見を尊重し、その権限の範囲内において、出資法人に対し必要な措置を講じるものとする。

(委任)

第8条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日等)

1 この条例は、公布の日から施行する。ただし、第4条及び第5条の規定は、この条例の施行の日以後に事業年度が終了する出資法人の当該事業年度から適用する。

(検討)

2 この条例の施行後3年を経過した場合において、この条例の施行状況を勘案し、必要があると認めるときは、この条例の規定について検討を加え、所要の措置を講ずるものとする。

議提第6号

●教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書

可決

議提第7号

●過疎地域自立促進特別措置法失効後の新たな過疎対策法の立法化についての意見書

可決

令和元年第3回定例会議決一覧

議案番号	件 名	付託委員会	議決結果
報告第5号	平成30年度決算に基づく健全化判断比率について	—	—
報告第6号	平成30年度決算に基づく資金不足比率について	—	—
議案第68号	平成30年度常陸大宮市一般会計歳入歳出決算の認定について	予算決算	認定
議案第69号	平成30年度常陸大宮市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	予算決算	認定
議案第70号	平成30年度常陸大宮市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	予算決算	認定
議案第71号	平成30年度常陸大宮市公営墓地特別会計歳入歳出決算の認定について	予算決算	認定
議案第72号	平成30年度常陸大宮市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	予算決算	認定
議案第73号	平成30年度常陸大宮市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	予算決算	認定
議案第74号	平成30年度常陸大宮市宅地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	予算決算	認定
議案第75号	平成30年度常陸大宮市戸別浄化槽整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について	予算決算	認定
議案第76号	平成30年度常陸大宮市温泉事業特別会計歳入歳出決算の認定について	予算決算	認定
議案第77号	平成30年度常陸大宮市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	予算決算	認定
議案第78号	平成30年度那珂地方公平委員会特別会計歳入歳出決算の認定について	予算決算	認定
議案第79号	平成30年度常陸大宮市上水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	予算決算	可決及び認定
議案第80号	常陸大宮市税条例等の一部を改正する条例	総務	可決
議案第81号	常陸大宮市印鑑条例の一部を改正する条例	総務	可決
議案第82号	常陸大宮市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	文教福祉	可決
議案第83号	常陸大宮市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	文教福祉	可決
議案第84号	常陸大宮市立保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する等の条例	文教福祉	可決
議案第85号	常陸大宮市森林環境譲与税基金条例	経済建設	可決
議案第86号	常陸大宮市水道の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例	経済建設	可決
議案第87号	常陸大宮市上水道事業給水条例の一部を改正する条例	経済建設	可決
議案第88号	常陸大宮市手数料徴収条例の一部を改正する条例	総務	可決
議案第89号	大宮地方環境整備組合理約の変更について	—	可決
議案第90号	工事請負契約の締結について（デジタル防災行政無線システム（同報系）整備工事）	—	可決
議案第91号	工事請負契約の締結について（辰ノ口橋橋梁耐震補強工事）	—	可決

議案番号	件 名	付託委員会	議決結果
議案第92号	工事請負契約の締結について (常陸大宮市新学校給食センター建設工事(電気設備工事))	—	可決
議案第93号	市道路線の廃止について(21698号線ほか1路線)	—	可決
議案第94号	令和元年度常陸大宮市一般会計補正予算(第3号)	予算決算	可決
議案第95号	令和元年度常陸大宮市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	予算決算	可決
議案第96号	令和元年度常陸大宮市介護保険特別会計補正予算(第2号)	予算決算	可決
議案第97号	令和元年度常陸大宮市戸別浄化槽整備事業特別会計補正予算(第1号)	予算決算	可決
議案第98号	令和元年度常陸大宮市下水道事業会計補正予算(第1号)	予算決算	可決
議案第99号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて(泉 小林 正之氏)	—	同意
議提第2号	常陸大宮市の出資法人の関わり方の基本的事項を定める条例	総務	可決
議提第6号	教職員定数改善及び義務教育費国庫負担制度堅持に係る意見書	—	可決
議提第7号	過疎地域自立促進特別措置法失効後の新たな過疎対策法の立法化についての意見書	—	可決

◆賛否の分かれた議案等

議案 番号	件 名	議決 結果	議 員 名																	
			坏 司一	高 村 功	黒 部 博 英	小 原 明 彦	大 瀧 愛 一 郎	岡 崎 欣 也	三 次 弘 史	坂 本 繁 輝	富 山 和 男	大 貫 道 夫	小 森 敬 太 郎	吉 川 美 保	武 石 寿 長	高 村 和 郎	淀 川 茂 樹	掛 札 行 雄	秋 山 信 夫	金 子 卓
議案 第68号	平成30年度常陸大宮市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	✖一	○	○	●
議案 第69号	平成30年度常陸大宮市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	○	○	●
議案 第73号	平成30年度常陸大宮市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	○	○	●
議案 第77号	平成30年度常陸大宮市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	○	○	●
議案 第79号	平成30年度常陸大宮市上水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	可決及び 認定	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	○	○	●

○：賛成 ●：反対 ✖『—』：議長は採決に加わりません。

令和元年第1回臨時会議決一覧

(令和元年7月25日開会)

議案番号	件 名	付託委員会	議決結果
議案第65号	指定管理者の指定について(おおみや広域聖苑)	総務	可決
議案第66号	工事請負契約の締結について(常陸大宮市新学校給食センター建設工事(建築工事))	—	可決
議案第67号	工事請負契約の締結について(常陸大宮市新学校給食センター建設工事(機械設備工事))	—	可決

一般質問

市政を問う

今回5人の議員が登壇し、
さまざまな視点から市政を問いました。

金子 卓 議員 P14

- ◇子どもの医療費について
- ◇常陸大宮駅周辺整備事業について
建設工事について
- 消防ポンプ操法競技大会について

小原 明彦 議員 P15

- ◇常陸大宮駅周辺整備事業について
- ◇地域おこし協力隊について
- ◇食品ロスの削減について
- ◇友好交流都市等の連携について

大貫 道夫 議員 P16

- 地域社会について
- ◇地域医療について
働き方改革について

高村 功 議員 P17

- 通学路安全確保について
- ◇人口減少対策と子育て支援について
- ◇市道彦沢線について
- ◇補聴器購入費の補助
イノシシ対策

三次 弘史 議員 P18

- ◇人口減少対策について
地域公共交通再編実施計画について
- ◇子供の通学における安全確保について

◇一般質問の掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。

一般質問とは...

定例議会において、各議員が住民の代表として、市の行政全般にわたり市当局の考え方や疑問をたずねることです。
単に疑問をはらし、事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策の見直し新規政策を提言する議員の重要な活動です。

金子 卓
議員



医療費助成年齢を 高校3年生まで拡大を

市長／来年度中の実施に向け
検討を指示しました

市長は第2回定例議会で「外来医療費の年齢拡大は前向きに検討していきたい」と述べました。今年4月1日現在で高校3年生までの外来医療費助成は、既に33市町村が実施しています。前議会以後の検討状況を質問します。

市長

高校生の外来医療費まで助成の拡充を、来年度中の実施に向け検討するよう保健福祉部長に指示しました。

具体化のためには、予算化が必要です。考えをお聞かせください。また、自己負担をどうするのとお聞きしてください。

保健福祉部長

助成対象を
高校3年生

まで拡大した場合の対象者数は約1100人、費用は約2000万円増加すると見込んでいます。令和2年度当初予算での計上を予定しており、来年4月からの実施を検討しています。自己負担の肩代わりについては現在検討しているところです。

駅周辺整備事業の内容と スケジュール

建設部長／駅舎・自由通路等の整備計画を策定し、来年度中に国へ提出します

第1回定例議会で答弁した「国に提出する都市再生整備計画事業」の内容とスケジュールを説明してください。

建設部長

常陸大宮駅
周辺整備で

は、駅舎、そして自由通路、駅前広場、ポケットパークの整備を行い、また計画地域内の生活道路の整備を交付金事業で行うものとして、現在、計画を進めているところです。

また、駅西交流拠点化構想では、どのような事業が

本市の交流拠点となるのか検討を進めているところですが、複数の事業を取りまとめ、概ね5年を整備期間の目標とした計画を策定し国に提出することになります。

令和2年度中の提出に向けて、作業を進めています。現時点の予定ですが、令和2年度中の提出に向けて、作業を進めています。

該当事業について各関係機関との調整・協議を進めており、「都市再生整備計画(案)」の策定ができれば、市民のみなさんの意見を聞きながら、事業採択の手続きを行っていきたいと考え

ています。

市民への説明、意見を聞くことは国に提出する前と理解してよろしいですか。

建設部長

国に提出する前に何らかの方法を検討していきたいと考えています。



常陸大宮駅

**常陸大宮駅周辺
整備事業については**
建設部長／策定作業を
進めていきます

JRと並行している駅西
の市道から上町の踏切へ抜
ける箇所が非常に危険であ
り「まずは、ここを」との
声がありますが、改修の計
画について伺います。

建設部長

県道・市道
の双方向へ
の進入について安全性の確
保ができていない状況です
ので、改良について関係土地所
有者と合意形成を図りなが
ら事業を推進していきます。

駅周辺整備事業を進めて
いく中で、鍵を握るのは駅

小原 明彦

議員



西の交流拠点であると思
います。住み続けられる、魅
力と活気あふれる快適なま
ちづくりを目指すには多様
なニーズに応えられる複合
型の交流施設を取り入れる
べきであり、子どもたちが
安全にのびのびと遊べる交
流空間や地域おこし協力隊
がOBも含め活躍できる観
光インフォメーション等、
故郷を慈しみ誇れる駅西交
流拠点となるよう、それぞ
れの関係部局が横断的検討
を重ね、郷育立市を象徴す
る駅西交流拠点化構想につ
いて伺います。

建設部長

整備方針や
内容につ
いて各部局と横断的な協議を
実施し、郷育の理念を踏まえ
ながら構想の中で十分に検討
し、策定作業を進めていきま
す。

**地域おこし協力隊
の定住に向けた
考え方については**

地域創生部長／
サポート体制を
充実していきます

これからの地方創生の考
え方として様々な形での関
係人口も踏まえた隊員の定
住に向けた活動推進につ
いて伺います。

地域創生部長

定住、関係
人口とし
て、それぞれの個性を活か
せるよう適切な支援をし、
定住定着の促進に向けたサ
ポート体制を充実してい
きます。

**食品ロスの削減
については**

産業観光部長／
普及啓発していきます

食品ロスの削減に大いに
つながるエシカル消費の推
進について伺います。

産業観光部長

市民講座や
各種集会な
どを活用して周知してい
き、環境教育のため小中学
生等にも普及啓発してい
きます。



エシカル消費周知の
リーフレット

✿ エシカル消費
：地域の活性化や雇用なども含
む、人や社会、環境に配慮
した消費行動のこと。

**友好交流都市等
の連携については**

政策審議監／前向きに
検討していきます

パラオ共和国のホस्ता
ウンとしてのレガシーを踏
まえ幅広い分野での交流活
動を進めるべく蔵王町との
友好都市締結への考えにつ
いて伺います。

政策審議監

多面的な交
流を進め互
いに機運が醸成された時
には前向きに検討してい
きます。

大貫 道夫

議員



医療資源と救命医療等について

保健福祉部長／市民の命を守る

取り組みのために

常陸大宮市内の病院・診療所数や許可病床について、また有床診療所についても伺います。

常陸大宮済生会病院の現状について伺います。

保健福祉部長

市内の病院数は2つで、慢性期疾患などを担う志村大宮病院と一般急性期疾患を始め小児科や救急医療などの政策医療を担う常陸大宮済生会病院です。許可病床数は2つの病院合わせて338床です。診療所は17施設、許可病床数は27床で、小泉医院が8床、高村外科医院が19床です。

保健福祉部長

許可病床数は、160床ですが令和元年8月1日現在、稼働している病床は144床です。平成30年度の入院患者数は延べ約3万6千人、外来患者数は、延べ約6万5千人でした。平成31年度の医師数は常勤医師が15名ですが、10月から内科医が1名、来年1月から救急医が1名増員となる予定です。

医療技術が発達し、良い薬品もできています。先般、高速通信網の発達に、内視鏡手術支援ロボット（ダビンチ）が全国に350台あり、これらを使い遠隔手術をするため、日本医師会の部会がガイドライン策定に着手との報道がありました。そのような進歩した医療技術が将来には常陸大宮済生会病院でもやらなければならなくなるのでは。そのためには症例を多く経験しておく必要があります。常陸大宮済生会病院ならではの特色ある取り組みについて伺います。

保健福祉部長

救命率の向上とともに重篤患者の減少及び入院期間の長期化を防ぐことを目的に、2つの事業に取り組んでおります。

1つ目はドクターカーの導入で、運行は市消防本部が行い常陸大宮済生会病院の医師、看護師がドクターカーに同乗し救急現場へ出动しております。

2つ目は、ICT（情報通信技術）を活用した取り組みとして、昨年12月に常陸大宮済生会病院と国立病院機構水戸医療センターの間で患者のMRI画像などをやり取りし、脳卒中の早期治療につなげる遠隔画像診断治療補助システムの運用を開始しました。

このように、常陸大宮済生会病院では市民の命を守る

ため、他病院にはない特色ある取り組みを行っておりますので、市としても、引き続き支援してまいります。



常陸大宮済生会病院のドクターカー

子育て支援の観点から学校給食費の軽減を

教育長／半額免除や無償化は考えていません

人口減少に歯止めをかけ、転入を多くするには子育てに優しい常陸大宮市が必要で、その観点から保護者負担の大きい学校給食費の軽減の考えは。

教育部長

大子町と城里町が無償、常陸太田市、神栖市が半額免除と聞いています。本市では児童1人あたり700円を補助し、軽減を図っています。

教育長

近隣市町では行なっているところもありますが、半額免除や無償化は考えていません。

市道彦沢線改良工事の速やかな進展と早期完成を

建設部長

地域の皆様方からの要望もあり、早期完成ができるように努力します

道路改良工事のこれまでの経過を伺います。

建設部長

平成2年度から旧山方町が整備を行ってきましたが、平成18年度に請願書が市議会に出され、採択され

たことを受け、県の過疎代行業として改良工事を行ってきました。改良率にしますと、現在約60%となっています。

住民からはいつになったら道路ができるのかという思いが強い。3月の住民説明会の内容と今後の進捗状況を伺います。

建設部長

説明会では3つの工事区間について、今後の整備について説明しました。皆



住民から早期完成が求められている彦沢線

様方にご理解いただけたと考えています。地域からも強い要望もあり、早期完成ができるように努力していきます。

加齢性難聴者の補聴器購入に公的助成を

保健福祉部長

国や他市町村の動向を注視し、今後調査研究をしていきます

加齢性難聴者は日常生活が不便となり、社会的孤立を招いています。これまでの市の対応を伺います。

保健福祉部長

本市では、身体障害者

手帳を有する聴覚障害者について、補聴器の購入及び修理に要した費用の助成を行っています。

日本での補聴器使用率は低く、それはあまりにも高価だからです。こうして低収入の高齢者は、聞こえないうちに毎日を過ごすことになり、公的助成をすべきです。

保健福祉部長

高齢者の難聴について、認知機能の影響を国の研究機関においても検証研究を開始したことや身体障害者手帳を受けていない65歳以上の難聴高齢者への助成制度があるのは、県内で1市のみであることから、今後、調査研究をしていきます。

高村 功

議員



三次 弘史

議員



人口減少対策について

市長／就業の場を確保するため

企業誘致等に取り組む

少子化、超高齢化社会における持続可能な常陸大宮市を目指すためには、人口減少対策が最も重要な課題です。人口減少は結婚しない人がふえたことが原因であり、少子化対策としては、まずは結婚すること。婚活支援の新たな取り組みは。

保健福祉部長

結婚応援サ
ポーター3

名が相談者の要望に合わせた場所、時間帯で相談を行います。月1回の日曜結婚相談会の他、県マリッジサポーター等のネットワークを生かしてのパートナー探

し、マッチング等を経て、お見合い当日の立ち会い、アフターフォローまで対応します。婚活イベントは、バスツアー等を実施しているが、地元参加者が少ないことから、ボランティア活動を通じたイベント、スポーツや趣味等のテーマに特化したイベント等、気軽に参加でき、男女が自然に知り合いになれるようなイベントを検討します。

人口減少の抑制は、転出を減らし転入をふやすこと。本市の産業振興を図るためにも、雇用の創出が必

要です。企業誘致活動の状況は。

産業観光部長

企業の間合
せは、昨年

度15件あり、閉校跡地や一般の土地の空き情報も提供しているが、インフラが整備されている工業団地を希望する傾向です。

企業誘致活動を積極的に
行うためには、市長自らト
ップセールスとして取り組
むべきです。市長の考えは。

市長

新たな工業団地
を造成して優良

企業を誘致し、さらなる就業の場を確保することによって、活性化を図ってはという意見は多くの方々から頂いていますが、高速道路から近い広大な土地を確保

するのは厳しい状況です。しかし、企業誘致は大変重要な事業、施策ですので、そのような土地がないか調

査しています。今後あらゆる機会を通して、企業誘致等に取り組めます。

子供の通学における安全確保について

教育長／通学手段の支援について検討する

山方中学校の生徒は、スクールバスがないので長い距離を通学しなければなりません。何とかスクールバスを運行できないでしょうか。

徒のうち、通学に係る負担軽減を図る必要がある生徒については、通学手段の支援について検討します。

教育長

児童・生徒
の通学環境

の改善を図るため、スクールのあり方について検討委員会を組織します。なお、通学に時間を要する生



先進地を視察

総務常任委員会

令和元年7月29日（月）～31日（水）

青森県八戸市

地域づくり施策について

地域担当職員制度は、「地域コミュニティの振興」に係る施策の一つとして位置付けられ、2名程度の担当職員を配置し、「地域づくり会議」への出席、「地域コミュニティ活動への助言」、「町内会からの意見・要望の受付及び担当課への取り次ぎ」を職務として従事。年に1度、市長に活動内容を報告し情報の共有化を図られている。その後、公募制による「活動実践型」の会議へ移行し、「地域の底力」実践プロジェクト支援事業をスタートした。この事業は、1年目は事業の検討・立案、2年目は実践。2カ年計画を原則としている。

委員会の意見

地域担当職員制度は、町内会からの意見・要望の受付及び担当課への取り次ぎをする職務と同時に、通常業務も兼務されていることから当該職員の大変さを感じるとともに、住民サービスの充実と地域コミュニティの振興に取り組まれていることが伺えた。

本市においても、地域課題、要望等に迅速かつ効率的に対応し、地域の底力をさらに見出すため有効と思われる。

秋田県横手市

出資法人への議会の関与について

消費者庁から販売商品の不当表示に関する措置命令を受けたことをきっかけに、「市出資法人に関する特別委員会」を設置した。当時は、出資比率が高くても市や議会に何の権限もないこと、議会への報告がないこと、透明性がないこと等を問題視していたことから、法令等の調査、議員と執行部関係職員を対象に研修会の開催、市長を含めた執行部との意見交換等を行い「横



秋田県横手市



青森県八戸市

手市出資法人への関与に関する条例」を制定した。

委員会の意見

条例制定に伴い、第三者による経営評価委員会の設置、行政関与の明確化・経営状況報告書作成さらには公的支援に関する報告基準の明確化等が効果として表れている。

本市においても、市の出資する法人があることから、議会の監視機能と関わりの制度化が重要と考える。

宮城県蔵王町

ホストタウンの取組について

本市と蔵王町は、「2020東京オリンピック・パラリンピック」に向けたパラオ共和国のホストタウンとして、連携して取り組むことに合意され、事前キャンプ受け入れに向けた取り組みをスタートした。アーチェリー・柔道・水泳・陸上選手の事前キャンプを行うとともに、地元の子供たちを対象にしたオリンピック等とのスポーツ交流会を開催し、気運の醸成を図られている。

また、同町内に「北原尾」地区がある。第二次世界大戦終戦をパラオ島で迎えた東北地方の方々が、帰国する際の入植先となった場所でもある。当地区を手作業により原野を開墾し、酪農地帯を築かれた。後に、天皇后両陛下が行幸啓され、現地に記念碑が建立された。

委員会の意見

蔵王町は、地元の子供を対象にオリンピックとのスポーツ交流会等、活発に交流を行い、町全体での応援と盛り上がりを感じた。

北原尾地区について、南洋のパラオを忘れないようにと「北のパラオ」と称して北原尾と地区の命名された由来や、開墾時の困難と大変さを痛感した。

また、英語力強化に向けた「英語教育特区」として、グローバル教育に注力されていることに子どもたちの未来を拓く施策と感じた。



宮城県蔵王町

先進地を視察

文教福祉委員会

令和元年7月30日（火）～8月1日（木）



宮城県多賀城市

複合施設について

文化センター、中央公民館、埋蔵文化財調査センターが複合的に設置され、そのメリットと課題について調査した。特に埋蔵文化財調査センターの埋蔵文化財の保存と管理について詳しく調査した。

委員会意見

本市においても重要文化財指定となった人面付き土器を収蔵・展示する施設が必要となる。埋蔵文化財調査センターの調査において、増え続ける文化財、専門職員の配置、消火施設等の維持費等、検討課題が多いと感じられた。また複合施設にして利用者獲得に工夫しているが、伸び悩んでいる。本市の施設整備においても、市民の利用という観点も考慮すべき点である。



埋蔵文化財調査センター



宮城県多賀城市



山形県酒田市

子育て支援について

子育て世代包括支援センター「ぎゅっと」の保健師、助産師、看護師等の配置状況、関係機関との連携及びその妊娠期から出産、子育て期まで切れ目のない子育て支援事業内容について調査した。

委員会意見

宿泊型産後ケアは、日本海総合病院と連携して、産後2カ月までのお母さん・赤ちゃんのケアや育児全般に関するアドバイス・指導をしてくれるなど、ほかの市町村にはない事業もあり、「ぎゅっと」は産後の母子の心身のケアや育児のサポートをする先進的な支援センターである。本市でも昨年10月に子育て世代包括支援センター「ぬくもり」が開設されたが、人員配置等はほぼ同等で見習うべき事業がたくさんある。



子育て世代包括支援センター
「ぎゅっと」



山形県上市市

健康マイレージについて

健診や健康教室などの健康づくりを行って、それぞれポイントを貯めると、サービスが受けられるという方法で、健康意識の向上と行動変容を図ることを目的とした上市市の健康づくりの仕組みを調査した。

委員会意見

ポイントによるサービスを目当てに健康づくりをしていた方も、参加するうちにポイントを貯めることより、今は健康づくりをすることが日課になり、それが健康向上につながり楽しんでやっている方が多いことを聞き、健康マイレージ事業の本来の目的が地域の方にうまく普及していると感じた。低予算ながら、市民主導型・参加型になっている点は大いに見習うべき点である。



山形県上市市

先進地を視察

経済建設委員会

令和元年7月31日（水）～8月2日（金）



北海道帯広市

「フードバレーとかち」について

帯広市は、面積約619平方キロメートル、人口約17万人、農業を主要産業とする十勝地方（約35万人）の中心地である。

「フードバレーとかち」でアジアの拠点を目指す①農林漁業を成長産業にする、②食の価値を創出する、③十勝の魅力を売り込む、この3つの取り組みが連携し、日本を代表する大規模畑作酪農地帯・食料供給基地という背景を活かした、生産・加工・流通・販売が結びついた十勝型のフードシステムを、オール十勝で作り上げている。

十勝で安全安心な農林水産物を生産し、地元で加工することで付加価値をつけ、十勝のブランド力を活かし、国内外へ販路を拡大している。

委員会の意見

帯広市を中心とする十勝地方が一体となり、「食と農林漁業」を柱とする地域産業政策「フードバレーとかち」に取り組んでいる姿を目の当たりにし、そのスケール感に圧倒され大いに啓発された。県北地区の自治体が一体となつて、県北地区への人の流入、交流人口の一層の拡大を図り、地域産業振興はもとより地域活性化・まちづくりに向けて、その方策を検討するのも一考かと痛感する。

本県は、東京という一大消費地・商圏という後背地を抱えていることは、何にもまして大きなアドバンテージである。これをどう活かすか、本市にとつても大きな課題であると言える。



北海道帯広市



北海道北見市

ふるさとテレワーク推進事業について

北見市は、北海道の東部に位置する人口約12万人のオホーツク圏最大の都市です。

平成27年度に総務省が実施する地方創生の主要施策である「ふるさとテレワーク推進のための地域実証事業」に採択され、ITを中心とした首都圏の企業9社が、北見市内にあるサテライトオフィス等で遠隔勤務に取り組んだ。

委員会の意見

「テレワーク推進事業」は、都市部から地方への人や仕事の流れの創出、地方における時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方の推進、ワークライフバランスの向上等を通じ、地方創生や働き方改革の実現に寄与する事業である。かかる時代背景をとらえ、地域活性化・地方創生の視点に立ち、本市においても北見市の先進事例にならつてテレワーク推進事業に取り組むことを望む。



北海道網走市

農産物の高付加価値化・ブランド化事業について

網走市は、世界自然遺産の知床・阿寒・大雪山の3つの国立公園に囲まれた、網走国定公園の中心に位置し、流水がもたらす豊かなオホーツク海の恵みと、北海道有数の肥沃な大地で育つ農産物は、全国に出荷されている。

委員会の意見

網走市は、オホーツクブランド（主要3品目 麦類・馬鈴しょ・てん菜）を確立し、産学官連携による農産物の高付加価値化・ブランド化に取り組んでおり、地産地消を実践する中で、経済的に自立した魅力あふれる「まち」を目指している気概を感じる。

その地域の資源・恵みを生かす知恵と工夫がいかに大事であるかを再認識する。本市の地域ブランド・6次産業化推進事業に期待する。



北海道網走市



サテライトオフィス



令和元年

常陸大宮市防災訓練が行われました。



令和元年10月5日（土） 山方中学校で行われた防災訓練に参加した生徒たち。

第4回定例会会期日程（予定）

月日	曜	会 議	事 項
12月9日	月	本 会 議	開会 議案説明
10日	火	休 会	議案調査
11日	水	本 会 議 予算決算常任委員会	議案質疑 補正予算審査
12日	木	常任委員会	
13日	金	常任委員会	
16日	月	常任委員会	
17日	火	本 会 議	一般質問
18日	水	本 会 議	一般質問
19日	木	休 会	議案調査
20日	金	本 会 議	委員会審査報告 質疑、討論、採決、閉会

※都合により日程を変更する場合があります。

議会を傍聴してみませんか？

傍聴券は、会議の当日に傍聴受付（4階議会事務局）において、先着順により交付します。

傍聴人の定員は30人です。定員を超えた場合は、4階傍聴ロビーのモニターでご覧いただけます。

（第3回定例会の傍聴者は延べ10人でした。）



マスコットキャラクター
ひたまる

表紙の言葉

いきいき茨城ゆめ国体におもてなしの華を添えて…

小瀬高校の生徒たち

発行責任者 常陸大宮市議会議員
編集 広報広聴常任委員会
〒319-2292
茨城県常陸大宮市中富町3135-6
TEL 0295-52-1111(代) 内線413
0295-53-0393(直)
FAX 0295-52-2186
E-mail gikai@city.hitachiomiya.lg.jp
URL <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>
市議会広報は、ホームページでもご覧になれます。

編集後記

この度の台風19号により、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。
令和の秋を迎えると共に多くの感動と茨城の誇りを実感できた第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体」本市開催の「なぎなた競技」は総合優勝。迫力ある素晴らしい熱戦でした。
広報委員として13年が経過、更に見やすく伝わるよう「難しいことを簡単に、簡単なことを面白く、面白いことをより深く」に努めていきます。
委員 小森 敬太郎